

情緒障がい研究部会の取り組み

本部会では、「情緒障がい教育における個に応じた支援の在り方について」というテーマのもと、研究を進めております。夏の台風の影響で、例年開催している研修会を中止したことは残念でしたが、九州地区情緒障害教育研究会大分大会に参加し、2月の研修会を開催することができました。

九州地区情緒障害教育研究会大分大会

期日 平成29年7月28日（金）

場所 ホルトホール大分

参加者 14名（宮崎県）

第1分科会 自閉症スペクトラム

「自閉症・情緒障がい特別支援学級における多様な児童に対する指導について ～キャリア教育の視点から、学校生活を充実させる手立て～」

発表者 宮崎市立佐土原小学校 教諭 大山 正子

キャリア教育の視点からのアプローチで、自閉症・情緒障害特別支援学級の児童との関わりの中で、自己理解、将来の設計等、生きる目的に迫る非常に大事な学習の実践報告をしていただきました。

様々な成果や課題から学ぶことは多く、「大切なことは日々の学習や係活動に淡々と取り組むことである。その先に進学や就労がある。」という発表者の言葉は、1日1日の積み重ねがその子どもの将来へとつながっているということを再認識するものでした。



情緒障がい教育研究部会 研修会

期日 平成30年2月6日（火）

場所 宮崎県教育研修センター 研修ホール

参加者 144名

講演「自閉症・情緒障がいの特徴と教育実践」

講師 宮崎大学教育学部 准教授 中井 靖

事例をもとに、児童理解の視点や特別支援教育上の具体的な支援方法について講演をしていただきました。また、困難から学ぶ意識や他の先生に相談・協力要請する姿勢等、特別支援教育に携わる教員の姿についても話していただきました。

大学の研究者の立場からの提言をいただき、具体的な支援の在り方について大いに参考となる研修でした。